

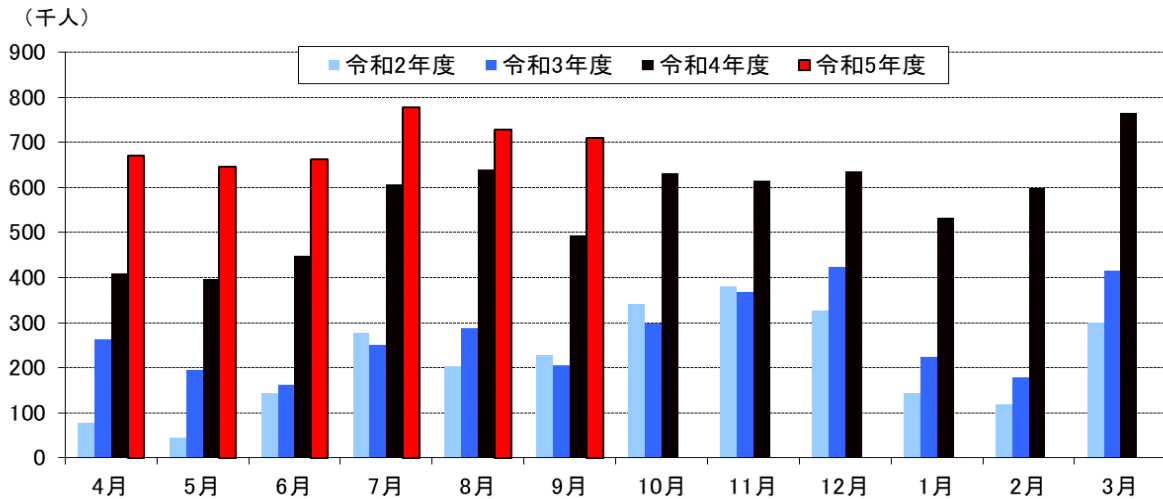
令和5年度上半期 沖縄県入域観光客統計概況

文化観光スポーツ部 観光政策課
令和5年10月発表

令和5年度上半期 419万5,900人
対前年度(R4)比 +119万8,300人、+40.0%
同期比では過去5番目、3年連続の増加
令和元年度同期比 △115万2,700人、△21.6%

入域観光客数（国内+外国）

■月別入域観光客数の推移（令和2年度～令和5年度）



■令和5年度上半期入域観光客の状況（令和4年度・令和元年度上半期との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
令和5年度	669,800	645,200	663,400	778,800	728,600	710,100	4,195,900
令和4年度	409,000	396,800	448,500	607,800	640,800	494,700	2,997,600
増減数	260,800	248,400	214,900	171,000	87,800	215,400	1,198,300
増減率	63.8%	62.6%	47.9%	28.1%	13.7%	43.5%	40.0%
令和元年度	851,400	834,900	868,200	963,600	1,021,200	809,300	5,348,600
増減数	-181,600	-189,700	-204,800	-184,800	-292,600	-99,200	-1,152,700
増減率	-21.3%	-22.7%	-23.6%	-19.2%	-28.7%	-12.3%	-21.6%

■令和5年度上半期の概況（総括）

令和5年度上半期の入域観光客数は、419万5,900人となり、対前年度同期比で119万8,300人、率にして40.0%の増と、3年連続の増加となった。また、令和元年度上半期に対して21.6%の減となった。

国内観光客は台風の影響のあった8月を除きコロナ禍前の水準まで回復していることに加え、外国人観光客は国際航空路線やクルーズ船の再開が進んだことで段階的に回復しつつあることから、下半期もこのまま回復傾向が続くものと見込まれる。

国内観光客についての動向

■令和5年度上半期国内観光客の状況（令和4年度・令和元年度上半期との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
令和5年度	603,100	575,300	585,700	663,600	632,200	603,500	3,663,400
令和4年度	409,000	396,800	448,500	607,800	640,700	494,700	2,997,500
増減数	194,100	178,500	137,200	55,800	-8,500	108,800	665,900
増減率	47.5%	45.0%	30.6%	9.2%	-1.3%	22.0%	22.2%
令和元年度	601,100	566,500	569,800	660,800	738,300	590,600	3,727,100
増減数	2,000	8,800	15,900	2,800	-106,100	12,900	-63,700
増減率	0.3%	1.6%	2.8%	0.4%	-14.4%	2.2%	-1.7%

■国内観光客の概況

令和5年度上半期は、5月8日に新型コロナが「5類感染症」に移行したことや全国旅行支援等による需要喚起により、台風の影響のあった8月を除き対前年度同月をいずれも上回り、上半期累計では22.2%増となった。

令和元年度に対しても8月を除き同月比でプラスとなり、上半期の累計では98.3%でコロナ禍前と同水準まで回復している。

下半期は、修学旅行の入込み見込み数が前年度を上回る状況であること、県外発の大型クルーズ船の寄港が複数予定されていることから、さらなる回復が見込まれる。

外国人観光客についての動向

■令和5年度上半期外国人観光客の状況（令和4年度・令和元年度上半期との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
令和5年度	66,700	69,900	77,700	115,200	96,400	106,600	532,500
令和4年度	0	0	0	0	100	0	100
増減数	66,700	69,900	77,700	115,200	96,300	106,600	532,400
増減率	—	—	—	—	96300.0%	—	532400.0%
令和元年度	250,300	268,400	298,400	302,800	282,900	218,700	1,621,500
増減数	-183,600	-198,500	-220,700	-187,600	-186,500	-112,100	-1,089,000
増減率	-73.4%	-74.0%	-74.0%	-62.0%	-65.9%	-51.3%	-67.2%

■外国人観光客の概況

令和4年度上半期は、海外から日本への入国制限措置等から累計100人に留まったが、令和4年10月に水際対策が大幅に緩和されて航空路線やクルーズ船の再開が続いたことで、令和5年度上半期は、前年度同期に対して大幅な回復となった。

一方、中国本土便など一部航空路線の運休が継続していること等から、令和元年度上半期の32.8%に留まっているものの、航空路線の復便等に応じて段階的に回復している。

下半期も、那覇－シンガポール便、那覇－高雄（台湾）便の再開が予定されていること、台湾、香港等からの大型クルーズ船の寄港が複数予定されていることから、引き続き段階的な回復が期待できる。